



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場取引所 東・名

上場会社名 太平洋工業株式会社

コード番号 7250 URL <http://www.pacific-ind.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小川信也

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 浅野晴紀 (TEL) 0584-93-0117

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 平成24年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	42,613	28.3	2,548	419.4	2,941	360.3	1,277	124.1
24年3月期第2四半期	33,215	△19.5	490	△83.0	639	△77.9	569	△60.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 107百万円(—%) 24年3月期第2四半期 △548百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第2四半期	23	92	23	84
24年3月期第2四半期	10	66	10	65

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	87,338		42,476		45.6	
24年3月期	90,540		42,396		44.1	

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 39,823百万円 24年3月期 39,915百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	78,000	△2.0	3,800	2.7	4,500	8.5	2,500	△24.2	46.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名)(太平洋工業(中国)投資有限公司)、除外 1社(社名)

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2.【サマリー情報(注記事項)に関する事項】(1)【当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動】」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2.【サマリー情報(注記事項)に関する事項】(3)【会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示】」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	54,646,347株	24年3月期	54,646,347株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,211,348株	24年3月期	1,293,984株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	53,388,791株	24年3月期2Q	53,480,979株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。平成25年3月期の業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1.【当四半期決算に関する定性的情報】(3)【連結業績予想に関する定性的情報】」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 【当四半期決算に関する定性的情報】 .....	2
(1) 【連結経営成績に関する定性的情報】 .....	2
(2) 【連結財政状態に関する定性的情報】 .....	3
(3) 【連結業績予想に関する定性的情報】 .....	3
2. 【サマリー情報(注記事項)に関する事項】 .....	4
(1) 【当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動】 .....	4
(2) 【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用】 .....	4
(3) 【会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示】 .....	4
3. 【四半期連結財務諸表】 .....	5
(1) 【四半期連結貸借対照表】 .....	5
(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】 .....	7
【四半期連結損益計算書】 .....	7
【四半期連結包括利益計算書】 .....	8
(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】 .....	9
(4) 【継続企業の前提に関する注記】 .....	11
(5) 【セグメント情報】 .....	11
(6) 【株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記】 .....	11

## 1. 【当四半期決算に関する定性的情報】

### (1) 【連結経営成績に関する定性的情報】

当第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年9月30日)におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要等を背景に景気持ち直しの動きが見られたものの、個人消費の伸びに陰りが見え、欧州債務問題の深刻化や中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化、円高の長期化等により、景気減速の懸念が強まってきております。

当社グループの主要事業分野であります自動車関連業界におきましては、昨年の東日本大震災に起因する世界規模での自動車生産の停滞から回復し、低燃費車を中心に自動車生産は前年同期に比べ大幅に増加しました。しかしながら、期間終盤においては、日本ではエコカー補助金の終了により、中国では経済成長の鈍化に伴う生産調整等により、自動車生産の落ち込みが懸念されております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は426億13百万円(前年同期比28.3%増)となり、利益面では、売上高の増加に加え、原価改善の効果、減価償却費の減少等により、営業利益は25億48百万円(前年同期比419.4%増)、経常利益は29億41百万円(前年同期比360.3%増)となりましたが、特別損失に持分変動損失(6億63百万円)を計上したことにより、四半期純利益は12億77百万円(前年同期比124.1%増)に留まりました。

### 【セグメント別の状況】

#### (プレス・樹脂製品事業)

主要市場である日本および米国における主要顧客の自動車生産が、東日本大震災に起因する大幅な生産の停滞から回復したことに加え、エコカー人気の高まりを受け日本車の生産は順調に推移したことから、売上高は301億98百万円(前年同期比30.2%増)と前年同期を大きく上回りました。利益面では、売上高の増加や原価改善の効果が寄与し、営業利益は9億78百万円(前年同期は営業損失57百万円)となりました。

#### (バルブ製品事業)

主要市場が米国であるTPMS製品(直接式タイヤ空気圧監視システム)の販売は日系自動車メーカーの販売の回復とともに増加し、前年同期を大きく上回りました。

この結果、売上高は122億20百万円(前年同期比24.4%増)となり、営業利益は15億81百万円(前年同期比188.5%増)となりました。

#### (その他)

その他は主に情報関連事業、ゴルフ場経営等のサービス事業から成っており、売上高1億94百万円(前年同期比0.4%減)、営業損失25百万円(前年同期は営業損失14百万円)となりました。

なお、セグメント別の金額は、セグメント間取引の消去後の数値であります。

## (2) 【連結財政状態に関する定性的情報】

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は873億38百万円となり、前連結会計年度末と比較して32億2百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は324億43百万円となり、前連結会計年度末と比較して14億13百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が6億32百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が11億98百万円、棚卸資産が合計4億29百万円、その他に含まれる未収入金が4億73百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は548億94百万円となり、前連結会計年度末と比較して17億88百万円の減少となりました。これは主に、時価評価等に伴い投資有価証券が16億52百万円減少したことによるものであります。

負債の部では、流動負債は247億89百万円となり、前連結会計年度末と比較して35億10百万円の減少となりました。これは、支払手形及び買掛金が17億20百万円、1年内返済予定の長期借入金が19億5百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定負債は200億71百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億27百万円の増加となりました。これは主に、長期借入金が8億22百万円増加したこと、その他に含まれる繰延税金負債が3億43百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は、利益剰余金が10億7百万円、少数株主持分が1億33百万円それぞれ増加しましたが、その他有価証券評価差額金が8億95百万円、為替換算調整勘定が2億27百万円それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末から80百万円増加し424億76百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は45.6%となり、前連結会計年度末と比較して1.5ポイント増加しました。

## (3) 【連結業績予想に関する定性的情報】

最近の業績動向等を踏まえ、平成24年4月26日に公表しました通期の業績予想を以下のとおり修正いたしました。

平成25年3月期 通期の業績予想値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	78,000	3,800	4,500	3,100	58.10
今回修正予想 (B)	78,000	3,800	4,500	2,500	46.81
増減額 (B-A)	—	—	—	△600	
増減率 (%)	—	—	—	△19.4%	

通期の業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の業績が順調に推移し平成24年8月1日公表の業績予想値を上回りましたが、日本におけるエコカー補助金終了に伴う反動や海外経済の減速、中国における日本車販売の落込み懸念などから、売上高、営業利益、経常利益につきましては前回公表時の値を据え置きとさせていただきます。当期純利益につきましては、第2四半期連結累計期間において特別損失に持分変動損失（6億63百万円）を計上したことにより、上記のとおり下方修正をしております。

なお、第3四半期連結会計期間以降の想定為替レートは1US\$=80円から78円に変更しております。

2. 【サマリー情報(注記事項)に関する事項】

(1) 【当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動】

第1四半期連結会計期間より、新たに設立した太平洋工業(中国)投資有限公司を連結の範囲に含めております。

(2) 【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用】

該当事項はありません。

(3) 【会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示】

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ14百万円増加しております。

## 3. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	12,025	12,657
受取手形及び売掛金	12,547	11,348
商品及び製品	2,666	2,179
仕掛品	1,476	1,497
原材料及び貯蔵品	1,460	1,497
その他	3,694	3,282
貸倒引当金	△13	△20
流動資産合計	33,856	32,443
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	11,951	11,863
機械装置及び運搬具（純額）	11,851	12,557
工具、器具及び備品（純額）	3,161	3,211
土地	6,242	6,223
リース資産（純額）	845	735
建設仮勘定	3,799	2,983
有形固定資産合計	37,851	37,574
無形固定資産	220	205
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	15,930	14,278
その他	2,696	2,851
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	18,612	17,115
固定資産合計	56,683	54,894
資産合計	90,540	87,338

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,927	8,207
短期借入金	3,440	3,800
1年内返済予定の長期借入金	5,051	3,146
未払金	5,969	5,404
未払法人税等	844	746
賞与引当金	1,235	1,261
役員賞与引当金	38	22
その他	1,792	2,201
流動負債合計	28,299	24,789
固定負債		
長期借入金	14,053	14,875
退職給付引当金	280	280
役員退職慰労引当金	197	203
その他	5,313	4,712
固定負債合計	19,844	20,071
負債合計	48,144	44,861
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,320	4,320
資本剰余金	4,580	4,581
利益剰余金	31,690	32,698
自己株式	△367	△344
株主資本合計	40,224	41,255
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,557	4,662
為替換算調整勘定	△5,866	△6,094
その他の包括利益累計額合計	△309	△1,432
新株予約権	63	102
少数株主持分	2,417	2,550
純資産合計	42,396	42,476
負債純資産合計	90,540	87,338

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
 【四半期連結損益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	33,215	42,613
売上原価	29,614	36,632
売上総利益	3,600	5,981
販売費及び一般管理費	3,110	3,432
営業利益	490	2,548
営業外収益		
受取利息	24	24
受取配当金	97	102
持分法による投資利益	126	213
補助金収入	—	228
その他	162	100
営業外収益合計	411	670
営業外費用		
支払利息	165	154
為替差損	55	87
その他	41	35
営業外費用合計	263	277
経常利益	639	2,941
特別利益		
固定資産売却益	—	9
特別利益合計	—	9
特別損失		
固定資産除売却損	17	24
持分変動損失	—	663
特別損失合計	17	688
税金等調整前四半期純利益	621	2,263
法人税等	46	1,026
少数株主損益調整前四半期純利益	575	1,236
少数株主利益又は少数株主損失(△)	5	△40
四半期純利益	569	1,277

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	575	1,236
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△838	△892
為替換算調整勘定	△203	△288
持分法適用会社に対する持分相当額	△82	52
その他の包括利益合計	△1,123	△1,128
四半期包括利益	△548	107
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△552	154
少数株主に係る四半期包括利益	4	△46

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	621	2,263
減価償却費	3,556	3,138
株式報酬費用	63	41
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	6
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△24	△0
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△15	5
賞与引当金の増減額(△は減少)	△91	26
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20	△16
受取利息及び受取配当金	△122	△127
支払利息	165	154
為替差損益(△は益)	△78	△32
持分法による投資損益(△は益)	△126	△213
持分変動損益(△は益)	—	663
有形固定資産除売却損益(△は益)	16	14
投資有価証券評価損益(△は益)	5	3
売上債権の増減額(△は増加)	△1,249	1,046
たな卸資産の増減額(△は増加)	54	311
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△510	378
前払年金費用の増減額(△は増加)	△13	△77
仕入債務の増減額(△は減少)	△455	△1,510
その他の負債の増減額(△は減少)	△91	59
その他	7	42
小計	1,692	6,178
利息及び配当金の受取額	132	157
利息の支払額	△162	△161
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,015	△967
営業活動によるキャッシュ・フロー	646	5,207
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△98	△105
定期預金の払戻による収入	63	84
有形固定資産の取得による支出	△3,469	△3,303
有形固定資産の売却による収入	4	89
無形固定資産の取得による支出	△24	△20
投資有価証券の取得による支出	△21	△124
投資有価証券の売却による収入	0	—
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△3	0
長期貸付けによる支出	△13	△4
長期貸付金の回収による収入	7	7
その他	△12	△109
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,568	△3,485

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	350	360
長期借入れによる収入	3,150	900
長期借入金の返済による支出	△26	△1,974
リース債務の返済による支出	△154	△159
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△269	△269
少数株主からの払込みによる収入	—	145
少数株主への配当金の支払額	△12	△1
その他	△7	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,029	△1,006
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46	△76
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	60	639
現金及び現金同等物の期首残高	8,379	11,424
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,439	12,063

## (4) 【継続企業の前提に関する注記】

該当事項はありません。

## (5) 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

項目	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	プレス・ 樹脂 製品事業	パルプ 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,193	9,826	33,020	194	33,215	—	33,215
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	128	128	△128	—
計	23,193	9,826	33,020	323	33,344	△128	33,215
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△57	548	490	△14	475	14	490

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・サービス事業等であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額14百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

項目	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	プレス・ 樹脂 製品事業	パルプ 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	30,198	12,220	42,419	194	42,613	—	42,613
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	148	148	△148	—
計	30,198	12,220	42,419	342	42,761	△148	42,613
セグメント利益又は セグメント損失(△)	978	1,581	2,559	△25	2,534	14	2,548

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・サービス事業等であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額14百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (6) 【株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記】

該当事項はありません。

【連結決算の概要】

1.第2四半期累計 連結損益計算書

12.3月期において、台湾およびタイの連結子会社の決算期を変更(12月決算から3月決算への変更)により当期は15ヶ月決算しました。

※3ヶ月の影響額 単位:百万円
表 上 高 +1,718
営業利益 +166
経常利益 +178
当期純利益 +126

単位:百万円、%

11.9月期 12.3月期 12.9月期(当期) 前年同期比 13.3月期 前年比(予想)
売上高 33,215 100% 1.4倍 79,579 100% 1.4倍 42,613 100% 1.4倍 9,397 28.3% 78,000 100% Δ1,579 Δ2.0%

<ご参考>

【個別決算の概要】

第2四半期累計 個別損益計算書

単位:百万円、%

11.9月期 12.3月期 12.9月期(当期) 前年同期比
売上高 24,292 100% 57,840 100% 30,832 100% 6,539 26.9%

<配当>

中間配当額 1株当たり 5円 (前年同期比±0円)
年間配当額(予想) 10円 (前年同期比±0円)

【連結】 第2四半期累計 通期(予想)
売上高 2期振りの増収 '08.9(45,227百万円)\*1 2期連続の減収 '08.3(89,862百万円)\*1

\*1 過去最高の金額を示す(第2四半期は'00年度以降)

<経常利益増減要因(11.9⇔12.9)> 単位:億円
プラス要因 マイナス要因
販売物量増 31 販売価格 Δ9

<経常利益増減要因(12.3⇔13.3)> 単位:億円
プラス要因 マイナス要因
販売物量増 12 販売価格 Δ13

<経常利益増減要因(11.9⇔12.9)> 単位:億円
プラス要因 マイナス要因
販売物量増 24 販売価格 Δ8

【個別】 第2四半期累計
売上高 2期振りの増収 '08.9(34,766百万円)\*1

\*1 過去最高の金額を示す

2.売上高、営業利益のセグメント情報

(事業の種類別)

単位:百万円、%

(所在地別)

単位:百万円、%

11.9月期 12.3月期 12.9月期(当期) 前年同期比
売上高 プレス・樹脂 23,193 69.8% 56,841 71.4% 30,198 70.9% 7,004 30.2%

11.9月期 12.3月期 12.9月期(当期) 前年同期比
売上高 日本 21,898 65.9% 51,696 65.0% 27,456 64.4% 5,558 25.4%

3.第2四半期末 連結貸借対照表

単位:百万円

単位:百万円

12.3月期 12.9月期(当期)
流動資産 33,856 32,443 Δ1,413
現金・預金 12,025 12,657 632

4.第2四半期累計 連結キャッシュフロー計算書

単位:百万円

11.9月期 12.9月期(当期)
I.営業活動 646 5,207 4,560
税金等調整前当期純利益 621 2,263 1,641

5.設備投資・減価償却費(無形固定資産を含む)

※設備投資は、工事ベース

単位:百万円、%

11.9月期 12.3月期 12.9月期(当期) 前年同期比
設備投資 当社 1,728 3,857 1,496 Δ232 Δ13.4%

(事業の種類別)

単位:百万円、%

11.9月期 12.3月期 12.9月期(当期) 前年同期比
設備投資 プレス・樹脂 2,225 4,688 1,933 Δ292 Δ13.1%